

### 第三三回 武蔵野文学賞「高校生部門」

#### 俳句部門 一句単独の部

##### 【最優秀賞】

万緑の羽田空港侵蝕す

矢野 麟太郎

##### 【優秀賞】

店員の双子と気付く良夜かな

帯谷 到子

精霊馬風に揺れつつひとり待つ

鈴木 里彩

蝉しぐれ止みて残れる石の熱

柳 英茉

##### 【佳作】

青き空プールに映る私たち

佐藤 詩子

照り返すアスファルトまで拍手くる

清水 美櫻

炎天や骨の輪郭だけが我

高岡 奈央

白夜の湖ボートの影がまだ眠る

竹内 ライナス

恋をしたときの瞬きするスピカ

土屋 沙音

風薫る海から丘へ告ぐ手紙

辻村 莉央

木洩れ日に波紋ひとつや鴛鴦涼し

中村 紗綾

遊び紙母と見し日の秋桜

西森 結海

銀閣の淡きモノトーン秋驟雨

船山 智成

木枯らしに母の膳待つ灯のともり

松本 煌史郎

しっとりたまつ毛の光る孕み鹿

峯田 陽仁

蝉しぐれ神父の説教訛りおり

宮内 菜摘

犬走る風より早くひまわりへ

横張 柚葉

雷の合間廊下を松葉杖

吉田 百花